

中学歴史プリント（過去問類似）

幕末・開国

名前

得点

/8

問1 幕末期の長州藩において、松下村塾で学んだ伊藤博文などの志士たちが当初参加していた、「天皇を尊び、外国の勢力を排除しようとする」政治思想を何といいますか。 （2020年 和歌山公立入試 類似）

1. 尊王攘夷 2. 公武合体 3. 和魂洋才 4. 文明開化

問2 日米修好通商条約の締結によって貿易が本格化した際、イギリスなどの欧米諸国から機械生産による安価な製品が大量に流入しました。これにより、日本の農村部などの生産地に大きな打撃を与えた品物の組み合わせとして正しいものを選択してください。 （2025年 愛媛公立入試 類似）

1. 綿糸・綿織物 2. 生糸・茶 3. 絹織物・陶磁器 4. 毛織物・鉄鋼

問3 19世紀半ば、江戸幕府が長年続けていた「異国船打払令」を緩和し、新たに「薪水給与令」を出した直接的な理由として最も適切なものはどれですか。 （2025年 沖縄公立入試 類似）

1. アヘン戦争で大国である清がイギリスに敗北したことを知り、欧米諸国との武力衝突を避ける必要があったため。 2. ペリーが浦賀に来航し、武力を背景に開国と通商を強く要求してきたため。 3. 産業革命を終えた日本が、欧米諸国との積極的な貿易によって富を蓄えようと考えたため。 4. 清との長年の貿易を維持するために、イギリスからの抗議を全面的に受け入れる決定をしたため。

問4 1858年、幕府の大老であった井伊直弼はアメリカとの間にある条約を結びました。この条約の締結が、尊王攘夷運動を激化させるなど国内の大きな反発を招いた主な理由として最も適切なものを選びなさい。 （2025年 青森県公立入試 類似）

1. 朝廷の許可を得ずに日米修好通商条約を結んだから 2. 朝廷の許可を得ずに日米和親条約を結んだから 3. 開港場を下田と函館の2港に限定したから 4. 日本に関税自主権がある平等な条約だったから

問5 幕末の政治において、幕府が朝廷との関係を深めて権威の回復を図った「公武合体」の具体的な事例として、最も適切なものはどれですか。 （2024年 愛媛公立入試 類似）

1. 孝明天皇の妹である和宮と、将軍である徳川家茂の婚姻 2. 薩摩藩と長州藩が秘密裏に結んだ薩長同盟 3. 徳川慶喜が政権を朝廷に返上した大政奉還 4. 欧米諸国との間で結ばれた日米修好通商条約

問6 1860年代の日本の貿易状況をまとめた資料によると、輸出額の約8割を特定の品目が占める一方で、貿易開始後の物価指数は急激な右肩上がりの傾向を示しています。この資料が示している当時の経済状況の説明として、正しい用語の組み合わせを選びなさい。 （2024年 佐賀公立入試 類似）

1. 主力輸出品：生糸、発生した現象：物価騰貴 2. 主力輸出品：綿織物、発生した現象：物価騰貴 3. 主力輸出品：生糸、発生した現象：デフレーション 4. 主力輸出品：茶、発生した現象：殖産興業

問7 19世紀後半、日本の美術が西洋の芸術家に大きな影響を与え、日本文化への関心が急速に高まった現象を「ジャポニスム」と呼ぶ。この現象において、ゴッホやモネといった西洋の画家に多大な影響を与えた、日本の浮世絵師の名前として適切なものはどれか。 （2026年 群馬公立入試 類似）

1. 葛飾北斎 2. 横山大観 3. 雪舟 4. 歌川広重（安藤広重）ではなく、明治以降に活躍した人物

問8 幕末の貿易において、日本を開国させた当事国であるアメリカの貿易シェアが急速に低下し、代わってイギリスが圧倒的なシェアを獲得した背景として、当時のアメリカ国内の状況を説明したものとして適切なものはどれですか。 （2018年 岐阜公立入試 類似）

1. 国内で南北戦争が勃発し、国外への貿易に注力する余裕がなくなった。 2. 産業革命の進展が遅れ、日本に輸出するための工業製品が不足していた。 3. アヘン戦争に敗北した影響で、東アジアにおける外交権を失っていた。 4. 江戸幕府ではなく、薩摩藩や長州藩などの有力な雄藩との個別貿易を優先した。

答え合わせ・解説

問1	答え 1 尊王攘夷	ペリー来航以降、幕府が天皇の許しを得ずに条約を締結したことへの反発から、天皇を敬う「尊王」と、外国勢力を撃退する「攘夷」が結びついた思想が広まりました。伊藤博文などの長州藩の志士たちは、当初はこの思想に基づき、イギリス公使館を焼き討ちにするなどの激しい行動に出ましたが、後に海外の進んだ実情を知ること、開国と近代化による国づくりへと方針を転換しました。
問2	答え 1 綿糸・綿織物	産業革命を経験した欧米諸国から、工場で大量生産された安価な綿糸や綿織物が輸入されるようになりました。それまで日本の農村で手作業によって行われていた綿作や綿織物業は、価格競争に勝つことができず、国内の生産地は深刻な経済的打撃を受けることとなりました。一方、生糸や茶は当時の主要な「輸出」品目です。
問3	答え 1 アヘン戦争で大国である清がイギリスに敗北したことを知り、欧米諸国との武力衝突を避ける必要があったため。	幕府は当初、1825年の異国船打払令によって外国船を力づくで追い払う方針をとっていました。しかし、1840年に始まったアヘン戦争で、アジアの大国であった清がイギリスの近代的な兵器に圧倒され、不平等条約（南京条約）を結ばされたことを知ります。これにより幕府は、日本が同様の攻撃を受けることを強く恐れ、無用な紛争を避けるために物資の補給を認めて穏やかに退去させる方針へと転換しました。
問4	答え 1 朝廷の許可を得ずに日米修好通商条約を結んだから	日米修好通商条約の調印に際し、孝明天皇は反対の意向を示していましたが、大老の井伊直弼は朝廷の許可（勅許）を得ないまま調印を断行しました。この違勅調印が、天皇を尊ぶ「尊王」の思想を持つ人々からの激しい怒りを買ひ、倒幕運動へとつながる尊王攘夷運動が激化しました。なお、日米和親条約はこれより前の1854年に結ばれた条約であり、井伊直弼が大老になる前の出来事です。
問5	答え 1 孝明天皇の妹である和宮と、将軍である徳川家茂の婚姻	公武合体政策を象徴する出来事が、14代将軍・徳川家茂と、天皇の妹である和宮（和宮親子内親王）の結婚です。幕府は皇族を将軍の妻に迎えることで、幕府と朝廷の一体感を演出し、失墜した幕府の権威を取り戻そうとしました。これに対して、薩長同盟や大政奉還は、幕府を中心とした体制そのものを終わらせようとする動きに関連する事項です。
問6	答え 1 主力輸出品：生糸、発生した現象：物価騰貴	幕末の貿易では、生糸が圧倒的なシェアを持つ輸出商品でした。この生糸の流出と、金銀の交換比率の差を利用した金の流出、さらには幕府による貨幣の改鑄などが重なり、激しいインフレーション（物価騰貴）が発生しました。この経済的混乱は、生活に苦しむ人々による「世直し」を求めめる一揆や、外国人への排斥運動である「攘夷」の動きを加速させる要因となりました。
問7	答え 1 葛飾北斎	19世紀のヨーロッパでは、万国博覧会などを通じて日本の浮世絵が紹介され、大胆な構図や色彩が西洋の画家に衝撃を与えました。特に葛飾北斎の作品は高く評価され、印象派の画家たちの作風に強く反映されました。横山大観は明治時代から昭和にかけて活躍した日本画家であり、この時期のジャポニスムの源流とは異なります。
問8	答え 1 国内で南北戦争が勃発し、国外への貿易に注力する余裕がなくなった。	アメリカは1858年に日米修好通商条約を締結しましたが、直後の1861年から国内で南北戦争が始まりました。この内戦によりアメリカは日本との貿易を拡大させることが困難になり、その隙を突く形でイギリスが日本市場でのシェアを独占する形となりました。この状況は、後の幕末外交においてイギリスが新政府側を、フランスが幕府側を支援するといった勢力図にも影響を与えました。